

第 2 回審議での指摘事項とその対応（アビリティガーデン）

指摘事項 1

- 要求水準に「受講者の確保」を求める場合、その規模についても明記すべき。

【上記ご指摘に対する修正案】

《アビリティガーデン実施要項案》・・・P 4～5

（3） 職業訓練事業の実施に当たり確保されるべき質

□ 受講者数の確保（下記に示す各コース1回当たり平成17年度に生涯センターが実施した6コースの実績と同程度を目指す。）

管理職のための「成功する目標管理（MBO）の実践的展開」

	<u>15人／1回</u>
<u>ビジネスプレゼンテーション力向上</u>	<u>9人／1回</u>
<u>管理職のための問題解決力向上</u>	<u>14人／1回</u>
<u>Win－Winコミュニケーション力向上</u>	<u>15人／1回</u>
<u>「ビジョン構築力」の開発</u>	<u>11人／1回</u>
<u>実践・企画能力向上</u>	<u>14人／1回</u>

《アビリティガーデン実施要項案》・・・P 13

（7）受講者募集の協力等

民間事業者は、受講者の募集に係る自社HPへの掲載及び募集パンフレットの配布等必要な措置を講ずるものとする。また、機構は、従来通りの募集活動の他、民間事業者の求めに応じて必要な協力を行うものとする。

指摘事項 2

- モニタリングの結果、要求水準を満たしていない場合、直ぐに改善を求めるのではなく、機構の判断を行う過程が入っていた方が良いのではないか。

【上記ご指摘に対する修正案】

《アビリティガーデン実施要項案》・・・P 5

（4） 機構が行う必要な助言、協力

民間事業者は、次のイ又はロ又はハの場合、速やかに業務の改善策を作成・提出し、機構の承認を得た上で実施するものとする。なお、民間事業者は、改善策の作成及び実施に当たり、機構に対して必要な助言、協力を求めるこ

とができる。

イ 1コース当たりの応募者数が（3）の口程度に満たないことを事前の申込み状況で確認した上で、業務の改善が必要と判断し、民間事業者にそれを求めた場合。

ロ 機構が、民間事業者からの報告に基づき、いずれかのアンケート調査において役に立った旨の評価が80％に満たないことを確認した上で、業務の改善が必要と判断し、民間事業者にそれを求めた場合。

ハ 機構が、事業実施を随時モニタリングし、企画書記載事項の不履行を認めた上で、業務の改善が必要と判断し、民間事業者にそれを求めた場合。

指摘事項3

評価表の得点配分を提案内容の程度に応じて配点できるようにする必要があるのではないか。

【上記ご指摘に対する修正案】

- 加点項目について、提案内容の程度に応じて配点できるよう評価基準を見直し、対応する。

《アビリティガーデン実施要項案》・・・別紙8

別添のとおり

指摘事項4

- 賠償責任の部分の書き方について

【上記ご指摘に対する修正案】

《アビリティガーデン実施要項案》・・・P15

- (1) 民間事業者は、本契約を履行するに当たり民間事業者、その役員、職員その他本契約の履行に従事する者の故意又は過失により第三者に損害を加えたときは、当該損害に対する賠償の責めに任ずるものとする。この場合において、機構が当該損害に対する賠償の責に任じたときは、民間事業者は、機構の求償に応じなければならない。

ただし、当該損害の発生が機構の責に帰すべき理由による場合は、この限りでない。

以上

評価表

№〇〇〇

訓練実施希望者名 〇〇〇〇

訓練コース名 〇〇〇〇

評価項目・評価の視点		評価基準	得点配分		得点	備考
			基礎点 (必須)	加点		
訓練環境等	事業実績等					
	過去の事業実績から見て、安定した訓練の運営が見込まれる者であること。	在職者向けの教育訓練を実施していること		0 / 10		
	組織体制（責任者及び事務担当者の配置）					
	訓練コースの運営に当たって、訓練指導体制等の訓練全般に係る責任者1名を配置でき、受講者からの問い合わせ等に常時対応する窓口としての事務担当者を1名以上配置（受講日に生涯センターに常駐）できる体制が講じられていること。	責任者の配置	0 / 10			訓練全般に係る責任者を必ず1名置くこと。
訓練内容等		事務担当者の配置（受講日の常駐）		0 / 10		
	訓練の対象者					
	主な受講対象者を在職者（主として雇用労働者）とするものであること。	主な対象者が在職者（主として雇用労働者）	0 / 10			
	訓練期間及び訓練時間					
	訓練期間が、平成20年3月31日までに終了するものとなっており、1コース1回あたり連続2日間の訓練時間が最低12時間以上であること。	条件を満たしていること	0 / 10			
	訓練実施前の情報提供					
	受講予定者に対し、生涯センターのホームページ上で訓練コースの詳細情報を提供すること。	訓練実施前に、受講予定者に対し、訓練コースの詳細情報を提供すること。		0 / 10		
	使用教材					
	専用のテキスト（市販のテキストを除く）を作成していること。	専用テキスト（市販のテキストを除く）を作成していること。		0 ~ 10		
	副教材					
	テキスト以外に、実施機関が独自に用意する副教材を使用すること。	実施機関が独自に用意する副教材を使用すること。		0 ~ 10		
訓練コースの実施	訓練コースの実施					
	「在職者訓練コース開発企画書」に沿ったカリキュラムであること。	「在職者訓練コース開発企画書」に示したものと合致していること。	0 / 20			
	講義に加え、より多くの訓練技法を実施していること。	講義に加え、より多くの訓練技法の実施		0 ~ 20		訓練の実施にあたり、講義に加え、より多くの訓練技法が記載されていること。
	民間事業者による新たな教科の細目及び訓練内容が企画されており、訓練時間が12時間を越えていること。	新たな教科の細目及び訓練内容が企画されており訓練時間が12時間を越えていること。		0 ~ 20		
	受講生の習熟度を測定することとされていること。	習熟度測定の実施方法が明示されていること。		0 ~ 10		
訓練修了後のフォローアップ体制	訓練修了後のフォローアップ体制					
	訓練修了後の修了生に対し、習熟度を高めるために相談窓口を設けるなどの体制を講じていること。	訓練修了後のフォローアップ体制の有無		0 / 10		
講師の資格等	講師の資格等					
	担当する講師の経歴	講師の経歴		0 ~ 10		
	担当する講師の現職	講師の現職		0 ~ 10		
	担当する講師の経験年数が適切であること。	指導経験年数		0 ~ 20		
	担当する講師の活躍度	講師の活躍度合い		0 ~ 20		今までの講演（2時間以上）の実施回数の累計
	担当する講師の著作物数	講師の著作物の数		0 ~ 20		書籍及び学会に提出した著作物の累計
	担当する講師の資格の総数	資格の有無		0 ~ 20		
補助員の数	補助員の数					
	訓練コース1回あたりに補助員（アシスタント）を配置していること。	訓練コース1回あたりの補助員数		0 / 10		
合計得点			50	220	0	